

教職員・院生版生協だより

# かけはし

No. 375

2026年1・2月号

発行名 大生協理事会

編集名 大生協教職員委員会

学内線 7540 学外線 781-1111

明けましておめでとうございます  
今年もよろしくお願ひします

## ＜今回の注目記事＞

生協より新年ご挨拶



学生委員会より「ふくしまスタディーツアー」他

全国教職員委員会リレーエッセイ

ランニングライフ：「ベトナムマウンテンマラソンと現状」

帰ってきた本棚をながめて：「ロジカル男飯」「魯山人味道」

お手軽簡単レシピ：「ぶたたま」「豚角煮」

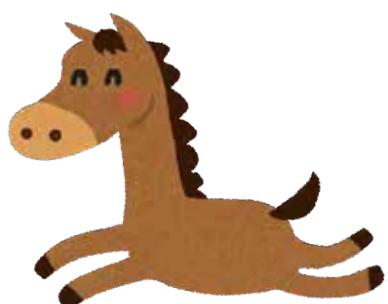
日本史×科学：「伊能忠敬の地図」

ポッドキャストのイベント報告：「ジャケギキ@原宿」

ねこ写真ももちろんあるよ！



WEB版  
(カラー有)は  
こちらから





# あけましておめでとうございます

## 理事長 原田正康



2025年9月26日～27日に、神戸三ノ宮で開催された大学生協東海地区の専務理事合宿に参加させていただきました。

大学生協の経営改善に向けての熱のこもった議論の後、2日目午後に、日本における生協の父として知られる賀川豊彦氏の記念館を訪問しました。田中館長から、賀川豊彦氏の生まれてからの足跡に関して講演していただきました。講演の中で、1946年に出版された賀川豊彦著「協同組合の理論と実際」の中に、「協同組合の精神を一口にいえば助け合いの組織である。」との記載があることが紹介されました。生協が「助け合い」をキーワードとして設立されたことを改めて認識させていただきました。

館長のお話の中では、賀川豊彦氏が、第二次世界大戦前にアメリカ各地で講演を行なっていたことも紹介されました。世界平和のために尽力され、ノーベル平和賞の候補にも挙げられたとのことを初めて知り、大変驚きました。この「平和」の重要性は、1951年に創立された日本生活協同組合連合会の創立宣言の中で、「平和とより良き生活こそ生活協同組合の理想であり」として強調されています。今回の記念館訪問は、「助け合い」と「平和」が生協活動における重要キーワードであることを改めて認識させていただいた点でも非常に有意義なものでした。

午後後半は、震災発生からちょうど30年の節目の年ということもあってか、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターを訪問しました。実際に被災された方の体験談を伺い、その後、震災発生時や震災後の復興に関する展示を見学しました。見学の最初には、「5:46の衝撃」と題する作品により、阪神・淡路大震災のすさまじさを体感させていただきました。震災当時には私はアメリカで生活しており、インターネットが普及する前のことでは情報が入らず、そのすさまじさはわかつていませんでしたが、今回の体験で、震災時にいかにひどい状況であったかの一端を知ることができました。そしてまた、被災地に「助け合い」の精神が溢れていたことがわかり、大変に感銘を受けました。

今回の合宿で大学生協事業連合理事長の棚澤先生も賞賛しておられた、東海地区が主催している「オキタビ」という企画があります。沖縄にあるひめゆりの塔など戦争に関する施設などの訪問から平和について考えたり、沖縄の自然や文化から未来を考えたりする機会を創出しようとする企画で、30年以上前から続けられています。下記のページに記載されている参加者の感想を見ると、多くの参加者が、戦争があったことを実感し、そして「平和」の重要性を認識していることがよくわかります。生協活動の重要なキーワードである「平和」を多くの人に伝える非常にいい機会であると感じました。今後とも続けていってほしい重要な企画の一つと考えます。

[https://www.univcoop-tokai.jp/service/service\\_141.html](https://www.univcoop-tokai.jp/service/service_141.html)

今回の合宿を終えて、「助け合い」と「平和」を尊重する生協活動に、微力ながら貢献していけたらと考えました。

今年もよろしくお願ひいたします。

全国教職員委員会リレーエッセイ～初めまして、全国教職員委員会です～

全国大学生活協同組合連合会全国教職員委員会

委員長 只友景士

こんにちは。初めまして、全国大学生協連・全国教職員委員会・委員長の只友景士と申します。今回は、名古屋大学生協の『かけはし』に全国教職員委員会のご縁で、寄稿することとなりました。よろしくお願ひいたします。

私は、全国大学生協連・全国教職員委員会・委員長のお役目を拝命し、全国教職員委員会の運営に携わっております。生協関連では、全国大学生協連の理事、龍谷大学生協の理事長を務めております。仕事は、龍谷大学政策学部の教員をしておりまして、経済学の入門科目、財政学、人間の安全保障などの科目を担当しています。

私の大学生協との関わり合いは、滋賀大学経済学部に入学して、滋賀大学彦根地区生協を利用することが始まりです。今のように生協に何かと関わるようになった切掛は、学生の「只友君」が、「生協書籍部の品揃えは貧弱だ。大学の書籍部らしくもっと良くしてください」とクレーム(笑)を言いに行ったことだったと思います。当時の専務さんが、「一緒に議論しよう」と話しをして、そこから色々と生協に関わるようになったと思います。当時の「只友君」は、「生協が良くなると自分たちの大学生活が良くなる」と直感的に思っていたのだと思います。それから35年以上の長きにわたって、何らかの形で大学生協に関わり、2023年から全国教職員委員会・委員長を務めています。大学生協をよくすることで、大学の何某かが良くなることに昔も今も関わり続けてきて、良かったし、これからもこのスタンスでいきたいなと考えています。

前置きが長くなりましたが、全国教職員委員会について紹介させて頂きます。全国教職員委員会は、全国大学生活協同組合連合会の組合員活動としての教職員活動を担当する委員会です。全国7ブロック（北海道、東北、東京、東海、関西北陸、中国四国、九州）から選出された教職員21名、ブロック事務局から11名、連合会から専務理事と2名の事務局で構成されています。主な取組は、2年に一度開催の全国教職員セミナーを企画・運営すること、5つのプロジェクト（学びと成長、読書+α、食と安全、平和と民主主義、協同組合、環境と防災）に取り組み、各ブロックでの教職員委員会活動と全国レベルでの活動を繋ぎ、広めていく活動に取り組んでいます。

2026年は、全国教職員セミナーの開催年であり、9月に名城大学にて開催予定です。名古屋大学生協の皆様には、ご近所開催ですので、是非ともご参加頂きたいと思います。企画の詳細は、現在検討中ですが、2025年・2026年度の全国委員会のメインテーマである「組合員の学びと暮らしのために大学生協の役割と価値を高める～平和とより良い社会に向けて～」を基調とする企画が組織でいると考えています。皆様と名城大学でお目にかかることがありますことを楽しみにしながら、ペンを置きます。

今回の寄稿は、全国教職員委員会で知り合いになった伊藤さんとのご縁で寄稿するものです。教職員委員会を大学単位で組織できているのは、北大・名大・京大など旧帝国大学の大学生協に限られています。全国委員長としては、各会員生協において、教職員委員会活動、教職員による何らかの組合員活動が拡がったらいいなと願っております。全国大学生協連合会の教職員活動を通じて、職場である大学、学会とは違った繋がりを作れることは良いなと思いながら私は活動を続けています。皆様とどこかでお目にかかれましたら幸いです。

### ●名大生協教職員委員会からのお知らせ

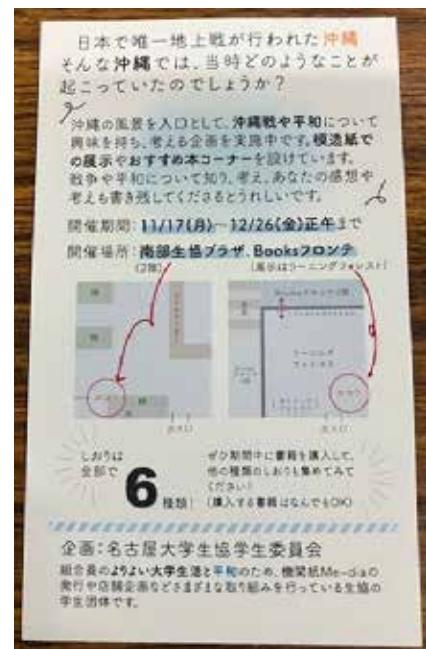
#### ・2月13日（金）18:00～帰ってきた赤提灯

生協の食堂（会場未定）を利用し、2018年まで行っていた、赤ちょうちんをもう一度開催したいと思います。当日は、11月から書籍店舗で開催している平和について考える企画を開催されている名大生協学生委員会の方にもお越しいただく予定で、学生と職員のかけはしになることを期待しています。

しかし、参加者が一定人数に満たない場合は開催がなくなってしまいます・・・お久しぶりの方も初めての方も皆様とお会いし、お話しできることを楽しみにしています。それだけでなく、準備から手伝っていただけるともっと嬉しいです

値段：4000円、会場：花の木

応募はこちらまで☞[kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp](mailto:kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp)



・X再開しました！！@kyoshoku\_c

休眠・夏眠状態でしたが再開しました。できるだけ毎日、生協や教職員委員会、時々その他組織委員会の情報を発信します。

・かけはしの編集など教職員委員会の活動に心惹かれる方はこちらまで

☞☞☞☞☞☞☞[kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp](mailto:kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp)

## ●生協耳より情報

### ・生協メルマガ

以前のかけはしでも案内しましたが、生協のメルマガに登録していただくと、定期的に生協からの〇〇フェアなどの情報が届きます

登録はコチラ <https://www.nucoop.jp/wfm/mailmagazine>

### ・DICTOOLについて

普段お使いのスマホやパソコンで電子辞書が持ち運べるようなものみたいです。ご存じの方もおられるかと思いますが、私自身全国教職員委員会で聞くまで存在を知らなかったので、詳しくは紹介できませんので、詳しくはWEBで

[https://www.univcoop.or.jp/service/book/univ-etext/etc/etc\\_377.html](https://www.univcoop.or.jp/service/book/univ-etext/etc/etc_377.html)

### ・南部生協でも北部生協でもご飯なし注文できます

10月1日から南部食堂でも、北部食堂ポラリスダイニングでも、セット提案をしているメニューもご飯なし、みそ汁なし、みそ汁の豚汁変更などの組み合わせを選べるようになりました。もちろんみそ汁の追加などもできます



ある日の南部食堂での食事

### ・大学院生も教職員も食堂パスが買えます

料金前払いでプレミアムがついてくる食堂パスのことはご存じですか？2025年から購買販売しているお弁当の一部も対象商品に加わりました。生協食堂で食事をされることが多い方も、弁当を購入される方もお得に食事ができますよ

詳しいご案内は1月の「教職員向けメルマガ」にてご案内いたします。

## 続・ネコネコアタック（1）

### ●可愛かった話

一. まだ私がネコをそんなに好きじゃなかったころの話。まだ結婚前、交際中だった妻の家にみいちゃんはいた。ある日、「みいちゃんはあなたの車の音がすると玄関に走って行くよ」と言われて、コロッとネコ好きになった

二. めいこが家にやってきたとき、すでにレモンは目が見えず癱瘓持ちだったのもあり、小さなめいこが怖くて怯えていた。そんなレモンを見ているとどうしてもめいこのことを

疎ましく思ってしまっていた。そんなある日のこと。おそらく玄関の外に出たときにめいこも一緒に飛び出てそれに気が付かなかったんだと思う。夜になって、猫が鳴いている。妻が「あれ、めいこじゃないの？」と何度も心配するので、玄関先まで見に行くと外に締め出されめいこは「どうして閉めるの？私ココだよ！！」と言わんばかりに鳴いて玄関先で扉の方を見ながら座っていた。もちろんこの時もこれでコロッといってしまった。

三. 猫の恩返し：昔先輩が飼っていた猫が近所の方に竹輪をもらつたらしい。帰宅すると枕の上にお裾分けが一本置いてあった。さすがにネコが咥えてきた竹輪は食べないので、捨てるために、ティッシュペーパーの箱に手を突っ込むと・・・・！！！その中にもネコさんの竹輪が隠してあったそうだ。

### ●レモンの話（前回の続き）

●はじまり・脱線・レモンと「かけはし」が架け橋～断らない・それって無駄なの？～

はじまりはレモンがてんかんの発作で寝たきりになったことだった。当時私はかけはしに「ランニングノート」という記事を連載していたのだが、その中でうちのネコが寝たきりになり、その介護に時間と体力を取られてあまり走れなかった。という記事を書いた。するとランニングノート史上最も反響があったのだった。かけはしの輪への投稿だけではなく私のことを個人的に知っている人からは直接、それだけではなく私以外のかけはし編集委員にも「猫の体調はどう？」と心配してくださる声が多く届いたのだった。そこで当時の編集長から「猫の記事も連載しようよ」という提案があり（断らない）、レモンの闘病日記という連載が始まった。それを読んだ、当時のなごねこの顧問（竹中先生）に2014年の仕事納めの日に突然「ねえ、伊藤さん少し話があるんだけど」と呼び止められた。何か仕事でやらかしただろうかとドキッとしたが、「あなたはきっと猫に理解のある人だと思うからネコサークル（なごねこ）のことをかけはしで紹介してほしい」とお願いされ（断らない）なごねこ便りの連載が始まった。すると今度は竹中先生ともう一人のなごねこ顧問だったS先生の伝手で男女共同参画センターのセンター長（当時）だった国際開発研究科の岡田先生から「ランニンググループを作つて HeForShe 活動の宣伝をしたいから協力してほしい」とお願いされ（断らない）ランニンググループ Nu Run for HeForShe ができた。

当のレモンは竹中先生に呼び止められたころには立ち上がっていて、レモンの闘病日記というタイトルはレモンの日常といった感じの内容に変わっていたと思う。

ネコの話からそれるがその後私は大学生協全国教職員委員の委員をやっている。2022年に引き受けたのだが（とりあえず断らない）、委員になった当初はオンライン会議ばかりでつまらなかった。そこで2022年限りで委員を辞めようと思って「つまらないし、参加していくても得るものも与えられるものもないので委員を辞めます」（断った！）といって委員を辞めるつもりで最後の対面会議に参加した。ところが初めての対面会議に参加してみると、楽しい。得るものも与えられるものもたくさんあると思えたのだ。そこで、「やっ

ぱり辞めるの止めてもいいですか？」といって今まで委員を務めている。そして、2026年度からは全国教職員委員会リレーエッセイの連載が始まる。レモンが架け橋になってくれた。そして、かけはしがもっと架け橋になりますように。

### ●レモンがやってきた～まだ元気なころ～

レモンは2011年に我が家にやってきた。1歳7か月までは順風満帆なネコ生を謳歌して、カーペットを畳んだり、携帯充電器のケーブルをかみ切ったりネコらしかった。体重も全盛期は5kgと立派だった。



### ●そして現在

現在我が家には2匹のオス猫がいる。もともと農学部周辺で保護？した猫たちだが、7月までのネコがレモンというある意味要介護猫だったので「普通の」ねこって凄！！と日々感心している。寝室の扉も開けられるようになったし、S字のフックにぶら下げるのも器用に取り外してどこかに連行していくし、おやつのしまってある扉も開けるし、病院に連れて行こうとしたら人間が病院送りになるし、ホント毎日驚かされる。レモンはうまく食べられなくて食事の半分くらいを捨てることになっていたけれど、今の二匹（ぶんちゃんとマックス）は驚くほどきれいに食べてくれる。食品ロスゼロ！！食べ残しなんて見たことがない。最近ようやく場所には慣れた感じがするので、私たちにも早く慣れてくれるといいなあと期待している。

カラー写真はこちら

([https://www.nucoop.jp/coop/coop\\_399.html](https://www.nucoop.jp/coop/coop_399.html))



# 生協職員紹介 第47回

専務理事補佐  
販売系医学部地区・一人暮らし支援事業・  
印刷部統括  
中村 智司

## ■自己紹介

10月1日付で名古屋大学生協に異動となりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

三重県伊勢市の出身で、三重大学生協、名古屋工業大学生協、全国大学生協連合会東海ブロック、愛知県立大学生協（愛知県公立大学生協）、2回目の三重大学生協を経て現在に至っております。現在、2回目の単身赴任を満喫しております。

## ■どんな仕事を？

鶴舞キャンパス、大幸キャンパスの販売系事業を統括することに加えて、印刷事業に加えて（印刷事業部内にある）「すまい紹介コーナー」も管轄しています。新入生や在校生、院進学者、留学生、一部、教員の方にすまい紹介をしています。

## ■趣味・休日の過ごし方

・妻と日帰りで東海地方、近畿関西をめぐっています。最近は寺社・城跡・古い町並みを散歩したりしています。毎年の大河ドラマ館へいくのも楽しみの一つです。

・趣味はバードウォッチング（がしたい）です。コロナ禍前は探鳥会に何度か参加しましたが、近ごろは大学内の木々を見上げているくらいです。

## ■読者の皆さんへひとこと

印刷事業、住まい事業、医学部キャンパスという、特定の方のニーズや研究生活をサポートがメインとなります。ぜひ、活用の機会がございましたらお声がけください。



※店舗の営業時間については  
生協ホームページにてご確認ください。  
<https://www.nucoop.jp/>



# 第47回 名大グッズ紹介

## なごみ桜

価格 1,257円（税込）

「なごみ桜」は、名古屋大学農学部東研究棟前の八重桜より単離されたさくら酵母「名大花酵母」を発酵に用い、酒米には名古屋大学東郷フィールドで生産された米「若水」を用いる、オール名大産の日本酒です。

生命農学研究科が、2009年より盛田株式会社および、あいち産業科学技術総合センターとの産学官技術連携による共同研究を行い、2012年より名大清酒「なごみ桜」を醸造、毎年約1,000本を限定販売しています。

2026年1月下旬から予約を受け付けます。また、北部購買（酒類販売免許店）店頭にて2026年3月中旬から販売いたします。お早めにお買い求めください。



# オキナワに学ぶ平和、 ふくしまに学ぶ震災

文責：あおりんご（名古屋大学生協学生委員会）

名古屋大学生協学生委員会のあおりんごと申します！私は今年の夏休み、大学生協主催の Peace Now! Okinawa というピーススタディツアーと、同じく大学生協主催の「ふくしま」スタディツアーという震災学習ツアーに参加しました。それぞれのツアーで学んだことや、学びを共有するために実施した企画について、この場を借りて書かせていただく運びとなりました。この2つのツアーに参加して、私が一番に思ったことは、

「知らないことは怖いことだ」

……ということです。ツアーに行って、現地で学んで初めて知った「過去」がたくさんありました。この記事を目に留めてくださったあなたは、沖縄戦や、東日本大震災による福島県の複合災害について、どれだけ知っているでしょうか？過去にどんなことがあって、それが今どうなっていて、これからの未来のために私たちに何ができるか、何を知っておかないといけないのか、語ることができるでしょうか？

沖縄県も福島県も、私はこの夏、人生で初めて訪れました。やはり現地に赴くからこそ見えるもの、わかるもの、感じられるものがありました。でも、紙面越しだとしてもみなさんに知ってほしい……。みなさんが平和や防災・減災について考えるきっかけになればと思っています。ぜひご一読ください。

## オキナワに学ぶ平和

私は Peace Now! Okinawa というツアーの実行委員を務めたので、5月～9月に3回沖縄を訪れました。そのぶんたくさん学びを得ることができ、ここに全てを書ききれないのでも、特に印象的だったことを紹介したいと思います。



左の写真は、平和祈念公園にある「平和の礎」です。「礎」は「いしじ」と読みます。ここには、出身や軍民かわらず全ての戦没者の名前が刻まれていて、今もなお戦没者が判明したら新しく名前を刻んでいるそうです。ここに刻まれた名前の中には、本名ではなく「○○の息子」や「○○の弟」などの書き方のものもあります。これは、名前がわからなかったとしてもその人の「生きた証」を残したいという思いからそうしているのだそうです。戦争で亡くなった方の多くは、遺骨が遺族の手に渡ることなく、お墓を作ることができませんでした。そのため、この「平和の礎」が戦没者の方々の「生きた証」となっていて、全国から多くの方が訪れています。

右の写真は、平和祈念公園から見た海と海岸です。とても美しく見える海ですが、ガイドさんから「当時は米艦に埋め尽くされていて、死体も浮かんでいた」と聞いて衝撃を受けました。昼間は「鉄の暴風」と呼ばれるほど米軍からの攻撃を受けており、夜になると住民たちは海岸沿いを走って逃げていたそうです。そして、真っ暗な海岸で溺れて亡くなる方も多くいたそうです。また、沖縄戦は集団自決が多く起こったことも特徴です。こういった崖から身を投げて亡くなった方も多くいると聞きました。今は綺麗な海も、そんな過去があったことを知ると、見る目が変わりました。



平和祈念資料館では写真撮影が禁止されていたため写真でお見せできないのが残念ですが、たくさんの学びがありました。負傷兵の処置をする余裕がなく、ミルクに青酸カリを混ぜて飲まされたと知り、戦争では命が軽んじられてしまうということを改めて実感しました。また、日本軍が住民にスパイの疑いをかけて殺害したり脅したり、住民にとっては「日本兵はこわい」ものだったと知り衝撃を受けました。

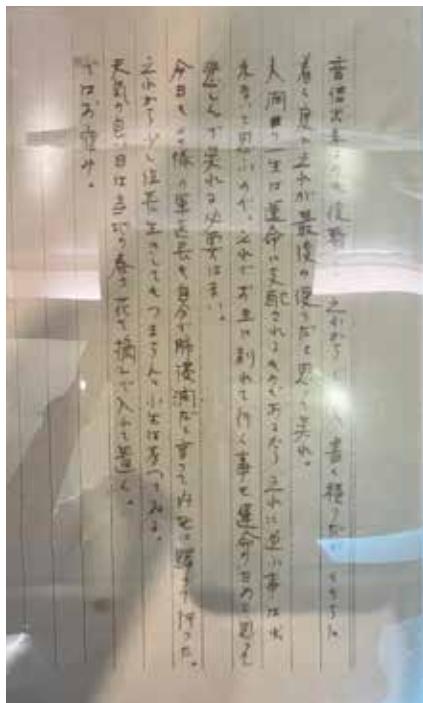


左の写真は、ひめゆり平和祈念資料館の前にある「ひめゆりの塔」です。手前に見える穴のようなものは「伊原第三外科壕」という、ひめゆり学徒の多くが亡くなった病院壕です。ひめゆり学徒とは、沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高等女学校の女学生たちのことです、看護要員として動員されました。病院壕で十分な睡眠や食事も取れない過酷な生活を強いられたのち、突然の解散命令で行く当てもなく壕を追い出され、多くの命が奪われました。

私が衝撃を受けたのは、彼女らは最初は祖国に奉仕しようと意気込んで戦地に向かい、笑顔も見せていましたということです。軍国教育の悲惨さが表れていると思います。資料館には亡くなった一人ひとりの写真とともに、それぞれの人柄や学校で頑張っていたことなどが書かれていて、未来ある尊い学生たちの命が失われたことを実感しました。

ツアーでは旧海軍司令部壕という場所も訪れました。右の写真は、壕の中にある「手榴弾による自決の跡」です。破片の跡が壁に細かく残っていて衝撃的でした。当時は「米軍に見つかれば、死ぬよりひどい目に遭うから自決したほうがまだ」という教えが広まり、兵士だろうと住民だろうと関係なく、自決用の手榴弾を当たり前のように持っていたそうです。





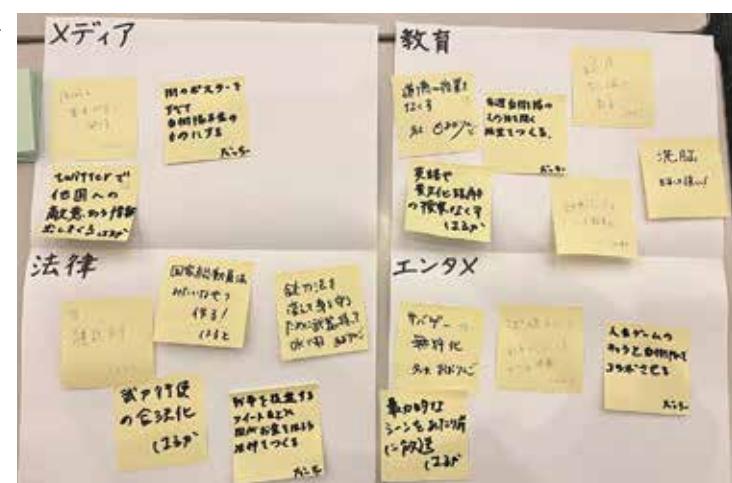
また、この壕は、自然の洞窟ではなく人の手で掘ったもので、右の写真のように、そこらじゅうの壁面にツルハシで掘った跡が見られました。迷路のような広い壕だったので、これを全てツルハシやクワで掘ったと知ったときは衝撃を受けました。きっと多くの人がこの壕を掘るために厳しい労働を強いられていたのだろうということが想像できました。



左の写真は、旧海軍司令部壕に展示されていた手紙です。家族に宛てて、「(戦況から)もうこれが最後の手紙になるかもしれない」と書かれていて、胸が締め付けられました。

日本軍として戦う人たちにも誰にでも大切な家族がいること、当たり前のことですが改めて気付かされます。

ツアー2日目の夜には、沖縄で「平和教育ファシリテーター」として活躍されている狩俣(かりまた)さんのご講演もありました。講演の中では、沖縄戦についてのお話だけではなく「平和教育とはなにか」というお話もあり、とても勉強になりました。さらに「平和をつくる力」を身につけるために「どうしたら戦争が起きてしまうのか」ということを考えるワークもありました。



メディア、教育、法律、エンタメの4つの観点から、国民が戦争を応援したくなるには何が必要かを考える逆説的なワークで、楽しみながら平和について学習できました。



余談ですが、沖縄のおいしいものもたくさん食べました。左から、ジーマミー豆腐、タコライス、沖縄そば、アグー豚のしゃぶしゃぶです。私はもちもちしたものが大好きなので、特にジーマミー豆腐はおいしすぎて感動しました。

## // 書籍店舗で企画を実施しました //



11/17～12/26の期間に、南部生協プラザと Books フロンテで Peace Now! Okinawa の学びを共有する展示企画を行いました。期間中に店舗で書籍を購入された方に沖縄の写真を載せたしおりを配布したり、展示を見た感想や意見を書けるようにしたりといった工夫も施しました。展示内容は、沖縄戦についての基本的なことから、平和教育についても盛り込みました。また、沖縄戦や平和に関する本のポップを作成して紹介しました。この中には、Peace Now! Okinawa でご講演いただいた狩俣さんがおすすめしていた本『戦争プロパガンダ 10 の法則』も含めました。



## ふくしまに学ぶ震災

「ふくしま」スタディツアーは、2日間のツアーでふくしまを過去→現在→未来の順に学べるものでした。私は人生初の東北地方の訪問でした。未だ復興が進んでいない地域の現状を見て驚いたり、復興が進んだ明るい面が見えたり、さまざまな語り部さんの講話を聞いたり、ふくしまのお土産もたくさん購入できたり、充実したツアーでした。



福島県は地震だけでなく原発事故による被害もあった「複合災害」の被災地です。ツアーの移動中にバスで走っていると、車窓から左の写真のように放射線量を示す看板が見えました。この地域では今も「帰還困難区域」となっている場所も多く、放射線の被害が今もなお残っていることがわかりました。

右の写真は、「東日本大震災・原子力災害伝承館」に展示されていた、「原子力ポスターコンクール」の2009年と2010年の入賞作品です。原子力発電が「クリーンなエネルギー」、「明るい未来」として描かれています。他にも「原発神話」というものがあったということも知りました。原発は安全でクリーンなものだと信じ込んで



でいて、事故が起こったと知ったときは信じられなかった人も多かったそうです。

そして、原発事故が震災による死者も増やしてしまったということも知りました。原発事故が起こったことで、付近は立ち入り禁止になってしまい救助活動ができず、本来助かるはずだった命を助けられなかっただという話もとても印象に残っています。お恥ずかしい話ですが、私は今までふくしまの人々にとって原子力がどんなものか、しっかり考えたことがありませんでした。特に、原発の功罪のなかでも「功」の部分を知らなかったため、非常に勉強になりました。

「東日本大震災・原子力災害伝承館」では、当時小学6年生で被災した横山さんも働いていらっしゃり、横山さんが語り部として当時のことを話してくださいました。横山さんは福島県の海沿いに位置する浪江（なみえ）町に暮らし、請戸（うけど）小学校という児童数が100人に満たない小学校に通っていました。請戸小学校は、迅速な避難のおかげで児童も教職員も全員が無事だったため「奇跡」と称されることもあります。しかし、お話を聞いているとそれは「奇跡」ではなく、全員が普段から「地震が起きたら津波が来るから逃げなければいけない」という意識を持って過ごし、地震が来た瞬間に机の下で身を守り、たすけあって避難したからこそその「助かるべくして助かった命」だと実感しました。



請戸小学校は、現在は震災遺構として見学ができるようになっていて、ツアーでも訪れました。写真を見ていただくと、震災の恐怖を感じられると思います。



右の写真は、体育馆を外から覗くように撮影したもので、床が抜け落ちてしまっているのがわかります。私が小学生のとき避難訓練の日が雨だと体育馆に避難していたので、体育馆は安全な場所というイメージでしたが、そうではないのかもしれないと思付かされました。



ツアーの移動中のバスの車窓からも、運転手さんはからいでいろいろな景色を見せていただきました。先ほど挙げた放射線量を示す看板だけでなく、「帰還困難区域のため立ち入り禁止」という看板もありました。地域によっては昼間しか立ち入ることのできない区域があり、そこには右の写真のように震災で壊れてそのままになった家屋やボロボロに崩れた塀なども見られました。



それでも、ほとんどの景色がとてもどこかで美しく、こんなところに住んでみたいなと思えるような素敵な景色でした。春になると桜が満開になるという並木道も見ました。そんな美しい景色も、津波に飲まれたら一瞬で壊れてしまうんだということも想像しました。



ツアーでは、浪江町の復興のシンボルである「道の駅なみえ」のオープンに尽力し、浪江町を復興に導いた菅野さんのお話もお聞きしました。福島県川俣（かわまた）町出身の菅野さんは、震災前は東京でお仕事をされていて、震災を経て「今、やりたいことはなにか」と考えた結果、ふくしまに戻られたそうです。菅野さんのお話を聞いた翌日は道の駅なみえを訪れ、浪江町の復興を肌で感じました。お土産の品揃えが豊富で、見ているだけで浪江町やふくしまの魅力がたくさん感じられました。

フードコートは浪江町のグルメを堪能できるようになっていて、私は浪江町自慢のB級グルメだという「なみえ焼そば」をいただきました。麺が太くてもちもちで、とても美味しかったです。菅野さんによると生しらす丼が絶品とのことでしたが、この日は水揚げがなかったようで食べられませんでした……。またリベンジしたいです。

道の駅なみえでは、当時小学校1年生で被災し、現在は大学4年生で教員を目指している長沼さんが講話をしてくださいました。長沼さんのお話のなかで特に印象に残っているのは、「震災があったからこそ会えた人もいる、震災があったからこそ浪江にいろいろ人が来てくれるようになってうれしい」という言葉です。震災で大切な人や町を失ったのに、「震災があったからこそ」とはなかなか言えないと思います。それでも長沼さんがそうおっしゃったのは、まちの復興にあわせて「この復興」もできているからで、震災のつらい経験を少しずつ乗り越えて前を向こうとしているのではないかと思いました。



## ＼書籍店舗で企画を実施します／～東日本大震災から15年～

ここまで「ふくしま」スタディツアーの様子や学びを書かせていただききました。いかがでしたでしょうか？もっと知りたい！と思ってくださった方がいらっしゃるうれしいです。2026年は、東日本大震災から15年の年です。この節目に、組合員のみなさんに震災や防災・減災について考えるきっかけになればいいな、ふくしまについて知り思いを馳せるきっかけになればいいなと思い、書籍店舗での展示企画を行う予定です。この『かけはし』に載せきれなかった学びもたくさんあります。ふくしまの過去→現在→未来を感じていただける展示にしたいと思いますので、ぜひご覧ください。実施は1月～3月頃を予定しています。

## 帰ってきた本棚を眺めて（7）

前号の「帰ってきた本棚を眺めて」で紹介したブラックスワンを読んでいる方を朝の通勤時に見かけた。名大駅で降りて行かれたので、もしかしてかけはしを読んで買ってくれたのだったら嬉しい。しかしその考え方自体偶然の影響を軽視しているというある意味矛盾話法でもある。

## 今月は美食！！

ロジカル男飯（樋口直哉著 光文社 – 2024/9/19）

魯山人味道（北大路 魯山人（著），平野 雅章（編集）中公文庫 – 1995/6/18）

一冊目は「男飯」昨年末にブックスフロンティアでたまたま見つけて、ジャケ買いした本だ。しかしこの原稿を書こうとして、探したが見つからない。実はまだ一部しか試していないのだが。だが読書感想文に実際の本なんか必要ない。感想は頭の中に入っているのだから。この本にはほかのレシピ本にはない「どうして、なぜ」という解説があって面白かった。牛すじや、塊肉は1時間以上茹でると柔らかくなる。ということを覚えただけでも買った甲斐があった。このやり方で下茹でしてから牛すじの煮込みや豚の角煮などを作ると肉が柔らかくなって、とても美味しい。（お手軽？簡単レシピ参照）



二冊目は以前にも紹介したような気がするが、「魯山人味道」だ。

「男飯」という食の本の紹介を書いていてふと本棚に目をやるとこの本が目に留まった。美食の話で北大路魯山人の本を紹介しないわけにはいかない。

この本を買った理由は、何かを極めた人の語ることには、たいてい（すべてと書かないのはすべてを知らないから）大切な何かがあると思ったからで、この本の場合は「美食の道は先へ先へと終わりがない」だった。それは美食の道に限らない。



ほかにこの本の思い出と言えば、ウナギは関東焼の方が関西焼より美味しい。と魯山人が言っているのを読んで、無性に関東焼きのウナギが食べたくなったことだ。名古屋で生まれ育って、人生の大半を名古屋で過ごしているため、関東焼きのウナギを食べたことがなかったので、名古屋市内で関東焼きのウナギが食べられるお店を探すと、竹葉亭という、魯山人の本でも名前が出てきたお店がタワーズプラザにあるではないか。早速行ってみたが、「三つ子の魂百まで」というように私には食べなれた関西焼きの方が美味しかった。それと同時に、もともと東京のお店だった竹葉亭が今や名古屋を含め、6店舗もある。これらの店でウナギを食べたら魯山人はどんな感想をいだくのだろうか。と、ふと思った。

## お手軽？簡単レシピ

### ●ぶたたま・無限アレンジ

名市大滝子キャンパスの学校祭に行ったときに出店で食べて気に入ったので作ってみた。名前を見たときはお好み焼きか、たませんかと思ったが、その意外性もまた良し！！

材料：(基本) 豚肉、たまご

(無限の材料) 味：出汁醤油、味噌、塩、鶏がらスープなど、いずれかもしくはブレンド

(無限の材料) 油：ゴマ油、ラード、バターなど

フライパンにいずれかの油をひき、肉を炒める、その間に卵を溶き卵にしておく。肉に火が通ったら適宜味付けをし、卵を溶きいれる。半熟状態でフライパンから上げた方が旨い。味付けと油の組み合わせ、また、事前に肉を漬け込んでおく、漬け込み時間を考えることと組み合わせることで無限は言いすぎだがかなりのバリエーションが楽しめると思う

### ●豚角煮

鍋に豚バラ肉に水がかぶるくらい水を入れる。ネギの青い部分、ショウガを適量入れて、1時間以上煮込む。沸騰した後は火を弱火にする。下茹で後いったん豚肉を鍋から取り出す。

★（煮込んだ汁：醤油：味醂：酒=100：1：1）

再び肉が下茹で汁に浸かるくらい★を加え、お好みで茹で卵も一緒に入れて40分ほど煮込む。今回も沸騰した後は弱火で

後日：肉を全部食べた後の煮汁は、かつ丼のタレ（もちろん親子丼でも他人丼でもOK）にも使える。板こんにゃくをフライパンで焼いて煮汁で味付けをし、こんにゃくステーキにも使える、厚揚げでもおいしいかもしれない。こんな感じでいろいろアレンジを考えるのもまた楽しい。以前に帰ってきた本棚を眺めて紹介した、「読書について」（ショーペンハウアー著）に、本ばかり読んでないでまずは自分の頭で考えてみろ。読書とは他人の考えで頭を満たすことだ。というようなことが書かれていたが、ただレシピ通り作って終わりでは面白くない。自分でいろいろ考えて遊んでみることが人生の味わいのひとつかもしれない。



カラー写真はこちら

([https://www.nucoop.jp/coop/coop\\_399.html](https://www.nucoop.jp/coop/coop_399.html))



付け合わせのスープは、「鶏がらスープで味付けをしゴマ油を垂らした、具材はエノキ・マイタケ・シメジ・ネギのスープ

# 日本史×科学 第8回 「伊能忠敬の地図はなぜずれているのか」

文責：鳥飼

## 伊能忠敬とは

1745生(徳川家斉(11代)の頃)、現在の千葉県出身(～1818没71歳)

名主・商人。49歳で隠居し50歳で江戸に上り、暦学、天文学、測量を学ぶ。55歳～71歳に日本全国を測量して日本地図を作成した。「大日本沿海輿地(よち)全図」という。「伊能図」とも呼ばれる。

時代的には帝政ロシアが蝦夷地に対して根室に入港し通商を要求したりしていて(1792)、蝦夷地の防衛のため、測量が必要になってきていた。(という見方もあるが、明治以降にこの説が出たという話も)

元々は地球の大きさを知るために、緯度1度の距離を測量しようと江戸城下を独自に調査していたところ、幕府の役所である天文方で暦学の師匠であった・高橋至時に全国測量を提案されたことからスタートしている。

## 伊能図とは

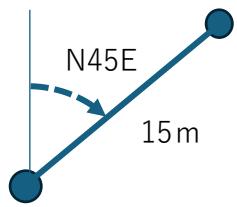
伊能図が完成したのは彼が亡くなった後の1821年。それから約30年後の1853年にアメリカの黒船来航。江戸湾を勝手に測量し、日本の測量を江戸幕府に要求したが、幕府は必要ないと伊能図を見せた。伊能図の正確さに驚き、日本の測量を諦めたと言われている。むしろ予想外に日本で科学が発達していることに恐れおののいた、とも。



図2 保柳(1974)との重ねあわせ図  
太線は現代地図、細線は伊能図  
(東京地学協会編「伊能忠敬の科学的業績」古今書院 1974  
p.25 第25図を、編者および出版社の承認の下に転載)

下記「伊能図中図におけるずれに関する考察」より引用  
伊能忠敬の地図はとても精度が高く、誤差は0.2%と言われている。伊能図だけを見たら充分使えるしが、現代の地図と重ねてみると、東西方向にズレがある。  
緯度が大体同じの関東～近畿～瀬戸内海付近はあまりズレがないけれども、高緯度(東北・北海道)・低緯度(九州)で東にずれているようである。  
それはなぜか。

地図を書くのに必要な要素は、現在の位置と移動した先の位置までの方向と距離。これらを正確に記録し縮尺をつけて作図する「導線法」が地図製作の基本である。

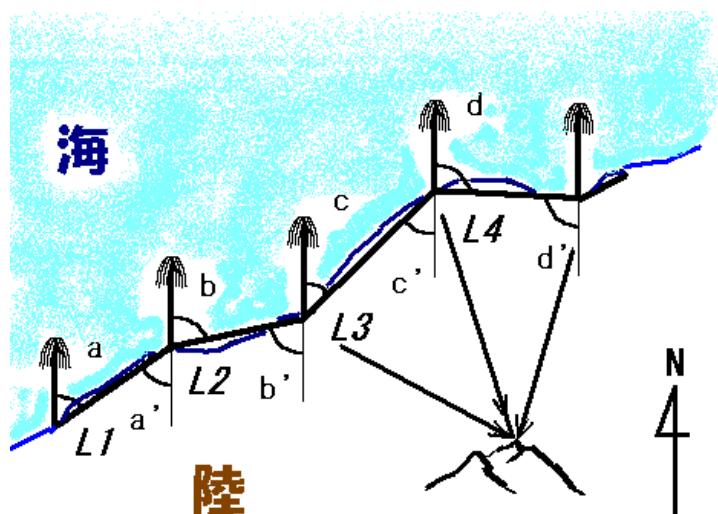


歩測(プラス鉄鎖・間繩・量程車)と方位磁針(杖先羅針・彎窓羅針)

を使って測量を行う。歩測とは、一步の間隔を同じになるようにして、二点の距離を歩数で求める方法である。鉄鎖と間繩は鎖状もしくは紐状の物差してある。量程車は車輪の回転数で距離を測る装置のこと。平らな道でなければ正確に測ることが難しい(勿論、江戸時代にはアスファルトやコンクリの舗装された道路はない)。

#ちなみに地質学を習うと導線法で地図を書く実習を受けることがある。筆者は30年前に歩測とクリノメータ(水準器付き)で作図を経験した。

更に、山の頂上までの方向を各所の位置から観測することで補正する「交会法」 「遠山仮目的法」を使ったそうだ。



下記「伊能忠敬の地図つくり」より引用

## 緯度経度とは

地図にある緯度・経度とは何か

現代なら GPS でいつでも一般人が知ることができる。例えばスマホに自分の移動した経路の GPS 記録を地図上に書かせるソフトがあって、でかい絵や字を描くこともできたりする。一般的に「GPS アート」と言われる。

では、スマホなどを使わない場合はどうやって緯度経度を測れるのだろうか。

●緯度の測り方:北極星の高度(伊能図の測量ではほぼ毎日夜に観測)

●経度の測り方:南中の時刻が分かれば可能

ただしこの頃時間の測定は今ほど正確ではない。振り子時計「垂搖球儀(すいようきゅうぎ)」はあったが、振り子なので船の移動には難があつたらしい。1日に約10万回振動し、誤差は1日あたり約1秒であった。

日食・月食の観測を2地点（江戸/大阪の天文所と測量地）で同時にを行うことでズレを補完することが理論上可能であったが、実際にはできなかつたようである。この理由は、正確な時刻が得られないことと、2地点の天候条件が良く観測可能であるという条件を満たす必要があり、これがかなわなかつたためと記録されている。

また、方位磁針の北(地磁気)は地球の北(自転軸)とはズレがある。これを「偏角」と言う。この偏角という現象は江戸時代当時には知られていたのだろうか？

ヨーロッパでは磁気偏角が1700年代には知られるようになつてゐたので、伊能忠敬の頃の江戸時代でも分かっていた可能性がある。しかし測量当時の磁気偏角の推定値(と作図方法の変更)を考慮して作図をするとほぼ正しくなることから、地図の作図では考慮されていないようである(下記論文参照)。

偏角が発生する理由は、ダイナモ理論(外核の液体鉄(とニッケルなど)の動きで磁性が発生し、頻繁に変動する)が考えられている。説明が難しいので、ここでは省略する。気になる人は各自でどうぞ。

測量結果を平面の紙に書くには投影法・図法(メルカトル図法とかサンソン図法とかカシニ図法など)も大事である。これもズレの原因と考えられている。球面のものを平面に書くので、どうしても完全に表現するのは難しい。伊能図は正距接円筒図法と考えられている。

### ＜参考図書・URL＞

#### \*参考図書は名大図書館にあります。ぜひ借りてみてください\*

伊能忠敬の地図をよむ、渡辺一郎他、河出書房新社、2010

すごいぞ!江戸の科学：時代を動かした地図・暦・和算の力、群馬県立歴史博物館、2018

伊能忠敬の地図作り

<https://www.ripro.co.jp/yamaoka/k-hanashi/kamishibai/kamishibai.htm>

クリノメータとは（産総研・地質調査総合センター）

<https://www.gsj.jp/geology/geomap/process-field/clinometer.html>

地磁気（鹿児島大学理学部地学教室応用地質学講座）

<https://www.sci.kagoshima-u.ac.jp/oyo/advanced/geology/geomagnetic.html>

伊能図中図におけるずれに関する考察、金澤敬、「地図」Vol.38, No.1, 2000

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjcal963/38/1/38\\_1\\_13/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjcal963/38/1/38_1_13/_pdf)

図法（地図投影法学習のための地図画像素材集、沼津工業高等専門学校）

[https://user.numazu-ct.ac.jp/~tsato/tsato/graphics/map\\_projection/](https://user.numazu-ct.ac.jp/~tsato/tsato/graphics/map_projection/)

## ＜ポッドキャストでもどうぞ＞

このネタを元に、Spotify/Apple Podcast/LISTEN などで、ポッドキャスト配信をしています

「目からウロコの理科ラジオ #めかラジ」で検索してみてください。もしくはこちらの二次元コードでどうぞ→

「#77 伊能忠敬の地図はなぜズレているのか」



学内でポッドキャスターをしている方・団体さん（ジャンル問わず）はいらっしゃいませんか？学内でポッドキャスターのイベントができたら会場費ゼロ（もしくは安価）で楽しい交流会ができるそうです。ご連絡お待ちしています。クイズの回答・ご意見フォーマットよりどうぞ。

## ジャケギキを行ってきました

去る11/28～12/2の5日間、東京・原宿の「東急プラザ原宿『ハラカド』」という複合商業施設で、ポッドキャストのアートワーク（レコード・CDのジャケットに相当する画像）をLPレコードサイズに印刷・ラッピングして展示するイベントが開かれました。参加番組は153組！

筆者（鳥飼）はポッドキャスト番組「目からウロコの理科ラジオ #めかラジ」の代表もやっていまして、このイベントに参加しアートワークを展示しました。「#めかラジ」は今年1年で大幅にリスナー数を増やしましたが、ポッドキャストの世界はまだまだ深く広い。アートワークの勉強にもなりました。



寄せ書きと番組ステッカー



つるし展示だと裏のデザインも良く見えます  
中日新聞のポッドキャスト番組も参加していました



## 動物写真集

我が家の新入り達と、同僚の実家ネコ、3月号のニュージーランド発に続いて今回はアメリカ発。



ミシガンのネコたち



後輩の実家ネコ



寂しい我が家





まだあまり慣れて下さっていないので写真少な目の我が家新入り達

カラー写真はこちら  
([https://www.nucoop.jp/coop/coop\\_399.html](https://www.nucoop.jp/coop/coop_399.html))



## 帰ってきた委員長のランニングライフ（4）～昔を懐かしむ。そして現状～

初対面の人とも一緒に楽しめるのがマラソンの魅力かな。というかけはしの輪へのコメントを見て、ベトナムマウンテンマラソンのことを思い出した。以前に生協印刷部の店長だった山本さんと山に走

りに行ったときに、トレイルランニングには、ロードから来た人と登山から二種類の人種がいると言われた。実際どちらのレースも経験すると確かにトレイルランニングの方が、初対面のほかの参加者は戦友といった感じで、例えば2019年のベトナムマウンテンマラソンでも、レース中にコースを間違えて迷ってしまった時などは競争相手だった（この年は40代の部のAGEAWARDを狙っていた）前後のランナーが途端に正しいルートを再発見する仲間になった記憶がある。その前年（2018年）は前年で、写真を撮りながらのんびり走っていると、どこから来たの？と声をかけられてしばらくしゃべりながら一緒に走ったり、その方にコース上で写真を撮ってくれるようにお願いしたりすることもあった。そのうち一人のベトナム人の方とはレース後に再開し、2019年のレース前日は彼の経営するホテルに宿泊したおかげ？で40歳代3位になることができた。ロードレースやトラックレースではこういったことはほとんどない。ただ黙々とゴールを目指すだけだ。

現代に戻って、今も大きな故障をせず継続（10か月継続中）して走っています。10月にはNU Run for HeForSheの方と岡崎リレーマラソンに参加したり、11月に入ってからは隔週で同僚技術職員の山崎さんと帰宅ランをするのが楽しみ且つ張り合いになっている。

また、11月中旬のことだが、理系ショップのスタッフの方に「走ってるところを見かけましたよ。私も時々走ってるんです」と声をかけていただいた。これももしかすると初対面の人とも一緒に楽しめるの延長かもしれない。しかし、よく考えてみるとこれはランニングに限らず、いろいろな種目・分野で共通の何かがあると、初対面の人とも一緒に楽しめるということがあるのでないかと思った。

最後に、12月5日に誕生日トライアル5000mを走ってみた。ペースメーカーは山崎さん  
結果：23'20" (4'41"/4'40"/4'40"/4'42"/4'35") で無事完走できました



Male 40-49			
1.	2005 Robert Knoblich	m	01:40
Club:	Aris Team Vietnam		
Time:	2:39:31.76		
Nation:	Czech Republic		
CPG:	01:03		
★ No Favorite			
2.	2001 Christoph Horsch	m	01:51
Club:	Lost Boys		
Time:	2:56:41.63		
Nation:	Germany		
CPG:	01:07		
★ No Favorite			
3.	2133 Ito Ka	m	01:57
Club:	Nu Run for HeForShe		
Time:	2:58:57.91		
Nation:	Japan		
CPG:	01:11		

カラー写真はこちら

([https://www.nucoop.jp/coop/coop\\_399.html](https://www.nucoop.jp/coop/coop_399.html))





# かけはしの輪



## 前号の感想

●「ネコネコアタック」にてレモンちゃんがなくなったとの記事を拝見し、私も8月下旬に愛犬を亡くしたため共感しました。【匿名】

(編) ありがとうございます。もう愛犬が亡くなってしまった喪失感からは回復されましたか？あの喪失感は何度経験しても慣れないですよね。

我が家はあっという間に2匹の令和世代のオス猫がやってきて、喪失感はすっかり上書きされてしまいました。

●エゴマ油、気になるので買ってみたいと思います！（花粉アレルギーの改善に期待！？）

【BIMA】

(編) 買いましたか！？良かったら感想を送ってください。原稿の投稿でも大歓迎です。

●しらす丼、美味しそうです！【匿名】

(編) そう言っていただけて嬉しい！ぜひ作ってみてください。簡単シンプルなのに美味しいです。

●今月号の紅花を読み、前号までの藍染同様古来の染物技術に感服する次第です。【匿名】

●日本史と科学のコラムが面白かったです。

【ゆきだるま】

(鳥飼) ありがとうございます。今年は大河ドラマに合わせて江戸時代を主にピックアップしましたが、来年は戦国・安土桃山時代。何が書けるかな？（第1回（364号）・第2回（367号）はこの時代だったので、良かったらご覧ください。）

●朝食のアイデアが載っていたのがとても嬉しかったです。【みい】

(編) 読者の方からの要望で掲載した記事に、またこうして嬉しい感想を送っていただけて適切に表現する語彙がないくらいうれしいです。

●ネコネコアタックに癒された。【匿名】

(編) 今後も癒されてください！！

●「君のクイズ」はとても面白かったです。ぜひ読んでみてください！【しゅしゅしゅ】

(編) ありがとうございます。早速Honya clubで注文しました！！

●ありちゃんとたびちゃん、ぶんちゃんの写真がとても可愛くて良かったです。さびねこはかわいいなとおもいました。もちろん、他の猫もかわいいです。レモンくんが虹の橋を渡ってしまったということ、とても寂しく思います。自分の身体が自由に動かなくなったりにもかかわらず、以前と同じように行動しようとしたというところ、思わず涙ぐんでしました。天国でのびのびと過ごしてほしいと思います。【副なごねこ】

(編) ペンネームを見て思わず笑ってしまいました。そしてレモンのことを読んでそこまで思ってくれたことをと、とても嬉しいです。ありがとうございます。ほんと、ネコ様って可愛く、不思議な魅力がありますよね。最近のぶんちゃんとの騒動でつくづくそう思いました。

●紅花の文字が紅茶に見えて、紅茶好きとしてわくわくしたのですが、読んでみたら紅花でした。紅花で口紅を作るにはものすごい量の花びらが必要ということはとても驚きました。

ドイツのビールマラソンの記事、とてもおもしろかったです。初対面の人とも一緒に楽しめるのもマラソンの魅力なのかな？と思いました。

レモンちゃんのお話は切なかったですが、レモンちゃんの生きる力の強さや飼い主さんのことが大好きなんだろうなということが伝わってきて感動でした。【おおりんご】

(鳥飼) ご感想ありがとうございます。

(編) はい！！多分レモンは私たち夫婦のことが大好きだったと思います。ぶんちゃんを見ているとそのことがレモンが生きていた時以上に感じられます。

●猫もいいんですが、犬の話がないのか少し気になります。【タッキー】

(編) 犬の話、ライターがいないんです…タッキーさん良かったら何か書いてみませんか？

●国際開発研究科のリレーエッセイを楽しみにしていたので、終わってしまって残念です。【匿名】

(編) ありがとうございます。執筆してくださった国際開発研究科の方にこの嬉しい感想を伝えておきます。

●レモンちゃんのご冥福をお祈りいたします。小さくても猫の存在っているだけで全然違うので、私も飼いネコが亡くなったときは部屋が寒いような錯覚に陥りました。レモンちゃんは病気がありましたが、飼い主さんが大事にしていたからここまで長生きできたんだと思います。【花中島マサル】

(編) ありがとうございます。事件があつてから12年経つと普通に歩いていたことが当たり前になってしまっていましたが、動物病院からも「この子入院させておいてももうよくなりません」と寝たきりのまま投げ出されたレモンがよくぞその後12年も私たちに安らぎと時折口臭を与えてくれたものだと思って、とても有り難いと思いなおしています。

## 生協への意見・通信

●藍染や紅染のように古来からの凄い技術を紹介して欲しい。【匿名】

(鳥飼) ネタは色々考えてあります。紫紺染めとか、ベンガラとか・・・。そのうち書こうと思います。お待ちください。

●本離れと言われる時代でも、書籍売り上げランキングは気になります。【匿名】

●書籍売上ランキング助かります！いくつか興味深い本もあったので、早速読ませていただきます！

【BIMA】

●初めて読みました。書籍売り上げランキングなど普段知ることのできない情報に触れることができ、面白かったです。【しば】

(編) ランキングを掲載した甲斐がありましたね。ありがとうございます。

●今後も料理系の記事をお願いしたいです！

【匿名】

(編) 今月は「本棚を眺めて」も料理系です。

●ネコネコアタックに癒されたい。【匿名】

(編) 今後も癒しになれるようにネコたちに期待しています！！

●いろいろな記事を載せてほしいです。生協に関する記事など。【匿名】

(編) ありがとうございます。今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。

●食堂の隅からたまに思うのですが、せっかく賢い集団の名大にある生協なので、学生さんにレジの不具合とかシステムの改善とかバイトでやってもらえないかなあととか考えてしまいました。【タッキー】

(編) 思わせぶりな回答ですが、小さな種がまかれました。発芽するかはわかりませんが。また、わたしとしては生協から募るのではなく、学生からこう

いうことやりたい・できるという「何か」を捕まえに来てほしいと思っています。仕事は探す・見つけるより、作る・見つかる方が良いと信じています。(ほかの方へのコメントでも使った表現ですが、信念を表現する適切な語彙がないのでやむを得ず使った「良い」です)

●名大発ベンチャー商品紹介、気になりました。農学部が販売している農作物やお酒などがどのように作られているのかも、ぜひ取り上げて紹介してほしいです。【匿名】

(編) ありがとうございます。今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。

●北部食堂だけではなく、南部食堂にもシーザーサラダドレッシングをおいてもらえると嬉しいです。

【しば】

(編2) 理事会に提案させていただきます。読者の皆様：生協の店舗・食堂へのご意見も「かけはし」で承りますので卷末のQRコードからぜひご応募をお待ちしています。

●紅茶を科学する…できれば書いてみていただけたいです！【おおりんご】

(鳥飼) リクエストありがとうございます。紅茶について軽く調べたところ、面白そうです。私もどんな話が見つかるのか、楽しみです！

## 編集部より

今回も皆様からのたくさんのお便りありがとうございます。編集部一同、次の制作の励みとさせていただきます。

さて、今回も卷末に漢字クイズをご用意いたしました。卷末のクイズのページ左上に付いているQRコードからご回答をお寄せください。

パソコンからの応募の場合は、

「かけはし クイズ回答」

のキーワードで検索していただけますとクイズ応募フォームのページに行くことができます。

ご応募の際、「かけはし」の感想、生協へのご意見などなんでも結構ですのでお書きください。皆さんのご応募お待ちいたしております！





# CO-OP QUIZ

No. 375  
2026年1・2月号

今回も漢字クイズをご用意しました。

以下のクイズが解けたら、左上のQRコードからご応募ください。

パソコンからご応募の方は

<http://kyoshoku.coop.nagoya-u.ac.jp/kakehashi/answer.html>

もしくは「かけはし クイズ回答」のキーワードで検索すると上記ページにアクセスできますのでご応募ください。

クイズの解けなかった方はご意見ご感想だけでも結構です。お待ちしています！

クイズ正解者および、ご意見ご感想を送っていただいた方の中から5名様に「生協電子マネー（Meica）500円分」を差し上げます。

（当選者の生協電子マネー残高に自動チャージいたします。）

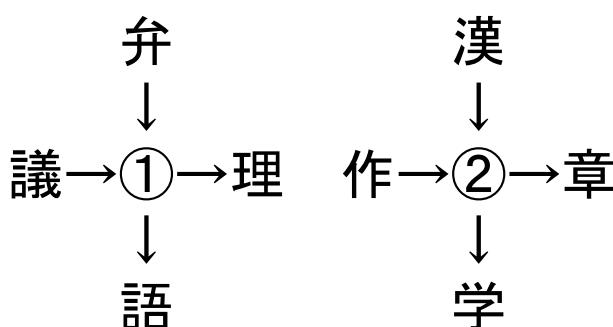


374号の解答： 技術



中央の①と②に漢字1文字を入れて、矢印の方向に読んで二字熟語をそれぞれ4つずつ作ろう。さらに、その①と②とを並べて二字熟語を完成させよう。それがクイズの答えです。矢印の向きにも気をつけてね！ （人名地名は熟語に含まれません）

（ヒント：卒業①②の季節ですね。）



答え： ①②



応募要項		
○ し ど し お 寄 せ く だ い。 ○ し 生 円 の も 入 想 可 方 可 協 へ の ご 意 見 ・ ご 要 望 を ど	○○ 入 想 可 の 方 可 協 へ の ご 意 見 ・ ご 要 望 を ど	○ （正 解 発 表 は 376 号） 締 切 は 1月 31 日 （正 解 発 表 は 376 号） 応 募 は 左 上 の Q R コ ード か ら

当選された方の生協電子マネー（Meica）残高に500円分をチャージさせていただきますのでお待ちください。（今回より当選者の所属の掲載を省略させていただきます）

吉原嘉子様  
若尾名緒様  
小森卓樹様  
高柳由美子様  
五島空香様

当選者

正解者数 19名  
応募総数 19名

374号の正解者